

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10			基準以上の広さを確保できている。運動ができる場所と静かに活動する場所を分け、小集団活動ができるように工夫している。
	②	職員の配置数は適切であるか	10			職員配置基準より3名程度多い職員数となるよう児童指導員や保育士、看護師、強度行動障害支援者を配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	10			建物自体が高齢者デイサービスとして建設されたのもので、バリアフリー化されており、開所時にも東京都の実地検査でチェックを受けている。お子様の閉じこもり事故防止の措置として現在はエレベーターを停止し、日常的には階段を利用していただいている。エレベーターの使用については臨機応変に対応してまいります。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	10			日々の打ち合わせや気が付いた時にはいつでも意見・提案が出しやすい環境を作り、ミーティングで話し合うようにしている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10			保護者の評価は職員会議で全員に周知し、改善策を話し合い実行できるようにしている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	10			ホームページで公表している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	2	2	多機能型として運営している現状の発達障がいのお子様の支援としてきた児童発達支援が今年度末で終了（事業内容の変更）に伴い第三者評価は延期となった。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	3		東京都の相談支援者研修、医療従事者研修、強度行動障害支援者研修、医療的ケア児支援者育成研修。全国放課後連研修会、放課後連・東京実践研修、その他機能訓練士の専門分野の研修については個々の必要性に応じて受講を推薦している。また、DVDを貸し出し、各自研修で障害への理解を深めるよう設置している。また虐待防止チェックリストで日々の支援を振り返る機会を作っている。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	10			現場の日々の様子を確認することに加えて、支援経過記録から見えてきた課題や発達状況について、支援員へのモニタリングを行っている。また保護者面談でニーズを確認、修正し、総合的に反映された計画となるよう作成している。また必要に応じて機能訓練士STが検査を行い、保護者様と課題共有を行ったうえで個別支援を計画に組み込んでいる。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	10			従来からのアセスメントに加えて、機能訓練士が必要に応じてNCプログラム（認知・言語プログラム）を活用し、お子様の困り感や行動の要因をデータ分析・評価を行っている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10			おやつ作りや工作はチームで行っている。イベント企画などもチーム立案を取り入れていきたい。

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	3		栗拾いやサツマイモ堀、買い物体験を年間行事として実施できた。車で遠くの広い公園に出かけたり、子ども達が大好きなおやつ作りも個人用に徹底できる工夫をしながらバリエーションを広げ実施してきた。コロナの感染状況を見ながら、外出レクリエーション、協同村(キャンプ場)体験など取り入れていきたい。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	9	1		平日は学校での疲れを発散するために、公園遊びや室内遊びでもバランスボールやトランポリン、卓球、大縄跳びやスクーターボード、サーキットなどで体力づくりを心掛けている。 七夕飾り、夏は駐車場を使って毎日水遊びを楽しみ、秋には栗拾いやサツマイモ堀、買い物体験。冬はクリスマスリース作りや絵馬制作など、季節感を大切にしながら、密にならないように注意し、自然環境を生かしたプログラムの中で、運動機能や手先の巧緻性を高めたり、創造性・発想性を豊かにすることなどを目的に支援している。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成しているか	10			個別活動で集中した達成感と成果で自信を高めていけるよう個々のお子様の様子を見ながら、臨機応変に対応している。また個別の困り感を把握し、課題を整理して支援に生かしている。集団活動は子どもたちの相性に留意し、仲間遊びや集団ゲームに仲立ちしながら誘うなど、課題に沿って計画を作成している。学習支援が必要なお子様には機能訓練士OTが個別支援を行う時間を確保する計画としている。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	4		来所時間が早まるなどの変動がある時には十分な打ち合わせができない場合があるので、出勤時間を早めたり、送迎や担当、内容についてはボードに記載し確認できるようにしている。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		9	1	支援終了後には掃除や送迎、各自の記録に時間がとられ、勤務時間内に全員での打ち合わせ、振り返りの時間の確保が難しい状況があり、課題と認識している。その日のうちには時間が取れず、各自記録したことを読み合わせることで共有に努めている。そのため今年度は常勤職員を増員し、振り返りに参加できる人数を増やしてきている。また、清掃業務は常勤が行うように役割分担し、非常勤の振り返りの時間を確保するよう努めている。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10			支援終了後は、支援の検証改善に役立てていける内容となるように、支援経過の記録時間を確保している。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	10			定期的にモニタリングを行い、支援員の意見を聞きながら、必要に応じて計画を見直している。
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	10			個々のお子様の発達の状態によって組み合わせを工夫している。
	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10			参画している。

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	8	1		基本的には保護者様からの月の利用表の記入にて把握しているが、時間の間違いが発生しないよう、都度確認を徹底している。また、下校時刻等の変更については保護者様からのメール等で連絡をいただくようお願いしている。
	㉒	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	該当なし			
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	10			保護者から検査結果や児童発達での通所状況等の情報を提供していただき、面談でも確認・共有に努めている。必要に応じて訪問し生活状況の確認等を行ってきたが、コロナ禍での訪問の実施は出来ない。コロナの状況を見て再開していく。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか	該当なし			
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	3	3	関係機関の会議に出席した職員から、会議の内容の説明を受け助言を理解している。職員会議での報告事項とするよう改善する。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	2	5	稲城市の児童館は小学生以上は児童のみの利用という規定があるため、2020年度は第四児童館に、支援員同伴の入場についてご検討いただいたところ、支援員が登録することで、通所児童に付き添っての入館を許可するとの回答を頂いた。今後コロナの状況をみながら、障がいのない子どもたちとの交流の機会を作っていきたい。 現在、コロナ渦中なので交流はしていない。 近隣の公園では、同じ学校の児童や友達と一緒に遊ぶ機会がある。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5	2	2	参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10			保護者様に今日の様子を伝えられる職員が添乗している。またお迎え時には担当者が玄関に付き添い、保護者の方に今日の様子をお伝えしている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	10			施設を訪問された機会にゆったり話を伺ったり、電話相談等でも必要に応じて行っている。 ペアレント・トレーニングに関して、職員のスキルアップを図るための研修を行っていく。
保護者への説明	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10			契約時に行っている。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10			個別支援計画の見直し時期に限らず、電話やメール時や、来所時などにお話を伺ったり、必要に応じて臨機応変にタイミングを見ながら行っている。電話での相談についてはその都度対応している。

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
責任等	⑳ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		3	7	コロナ感染防止のための保護者会、保護者参加の行事は自粛している。保護者同士のコミュニケーションは不足していると感じている。参加人数の制限等で検討していきたい。
	㉑ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10			苦情対応については、契約時に重要事項説明書で詳しく説明を行っている。第3者委員会も設置しているので、訴えがあれば迅速に対応できる体制は整っている。
	㉒ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	10			お便りを毎月発行し、写真を多くすることで活動内容が伝わりやすくなるように工夫している。行事予定表入れてお知らせしている。
	㉓ 個人情報に十分注意しているか	10			誤配がおこさないように、作業手順書の張り紙等での見える化し、確認作業を怠らないよう声掛けや二重チェックを行っている。
	㉔ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10			絵カードや、分かりやすい言葉での説明、書類の記載についての補助等の配慮を行っている。
	㉕ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		2	8	地域住民を招待できる行事を計画していたが、コロナ感染予防対策として実施は見送っている。
非常時等の対応	㉖ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	4		職員には周知しているが、保護者の対応についてはマニュアルの図書スペースに設置してきたが、全員への周知できていないため、文面にてお知らせするよう改善する。
	㉗ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10			6回実施。消防署には開催の都度「自衛消防訓練通知書」を提出している。曜日を変更しながら実施しているが、お子様の通所日に当たらない場合もあるので、今年度は避難訓練週間として、全員が参加できるように実施した。今後は保護者の皆様へのご報告をホームページやお便りでお知らせするよう改善を行った。また、稲城消防職員を招いて防災実践訓練を実施した。
	㉘ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8		2	職員チェックシートや研修を行っている。今年度は身体拘束についての確認を中心に行った。お子様の怪我や打ち身など発見した際には本人への確認や保護者へのお知らせなど行っている。
	㉙ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	10			身体拘束については毎年厚労省の資料を基に、研修で共通理解を図っている。保護者には契約時に身体拘束の禁止について説明し、放課後等デイサービス計画にもやむを得ず身体拘束を行う場合について記載している。
	㉚ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	3	2	医師の指示書のあるお子様の該当者はないが、避けた方が望ましいものについては確認を行っている。
	㉛ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10			作成して共有している。見逃さないように日々の記録をつけ、その都度周知している。